

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域		
				小,中,高,青,成, 年齢	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎	
288	新潟県埋蔵文化財調査事業団 普及・資料課 課長代理	新潟県埋蔵文化財調査事業団 で新潟県内の青田遺跡をはじめとする遺跡発掘調査を行う。新潟県立歴史博物館、新潟県教育庁文化行政課を経て、現在、新潟県埋蔵文化財調査事業団で普及啓発や資料管理を担当。	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県の縄文時代を代表する火焔型土器やヒスイの概説 最新科学を用いた縄文時代の生活復元 越後平野に埋もれた縄文遺跡 縄文時代の建物と建築材 縄文時代の粟について 縄文時代の丸木舟について 	<ul style="list-style-type: none"> ●H30 新潟・青田遺跡と縄文のクリ ●R1 新潟の渦底に眠る縄文文化、縄文時代の木材利用ーヒスイを運んだ丸木舟と三内丸山のクリー 			
アヲカ タシ	学芸員資格						新潟市
荒川 隆史							
1967							
4	農業	加茂農林高等学校農業土木課程卒業 栄町役場一合併後一三条市農林課課長補佐一地産地消推進室長 三条まんな塾副会長 新潟県有機稲作ネットワーク代表 三条市有機農業連絡協議会事務局長 三条市栄広域協定(農水省多面的機能支払交付金事業)事務局長	広域協定(農水省多面的機能支払交付金事業)での有機農業講話 食と農について食育推進とコラボした講話 過去に取り組んだ水田における除草技術の紹介及び最新技術情報	<ul style="list-style-type: none"> ●H29 有機農業の取り組み ●R1 農を支える市民づくり～地場型学校給食と食育～ 			
イガキ カズヤ	全耕地(水田2ha)JAS有機認証						三条市
板垣 和弥							
1955				青,成	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎	
290	一級建築士、設計事務所 主宰	中央区にて歴史的建造物の保存活用で新潟が歴史を感じる町にしたいという理念で活動する市民グループ新潟まち遺産の会で2004年より事務局として活動を続ける。市民グループ亀田学会で袋津担当として、地元袋津の魅力価値を伝えるべくまち歩きなどの活動を行う。地元小学校の総合学習で袋津の歴史を子ども達に伝える。	まち歩きガイド。袋津の歴史を紹介する講演会。新潟まち遺産の会で活動してきた歴史的建造物保存活動を紹介する講演会。	<ul style="list-style-type: none"> ●H29～R1 みんなのまち「袋津」のみりょく 			
イトウ ジュンイチ	伊藤 純一						
1963							
				小,中,成,親	全市		
252		県内小学校教員・県市教育委員会事務局職員を務めるとともに、新潟県史・市町村史の編集・執筆にあたる。定年退職後、新潟市教育政策監・新潟大学特任教授を務め、現在は新潟青陵大学特任教授・新潟県新聞活用教育推進協議会会長。	『知っておきたい新潟県の歴史』『学力を高める新聞遊び』『新潟県発！農業体験学習で子どもの心と頭を耕す』を監修、『新潟県 県民性の歴史』『新潟県 県民性の人物史』『新潟の街と小学校の百物語』を執筆。『新潟県史』『新潟市史』『新発田市史』『豊栄市史』『小須戸町史』『村松町史』を分担執筆。	<ul style="list-style-type: none"> ●H29 秋葉区学校司書実務研修「秋葉区の歴史」「父親力で子どもは伸びる！学校教育と家庭教育における父親の役割」「子育て学習出前講座」「変わる大学教育、変わる大学入試」「新潟のいいところ、知ってますか？」 ●H30 「村松藩の藩風」「新潟県 県民性の歴史」「新潟の県民性と教育」「新潟の県民性、その歴史的系譜」 ●「県民性と新潟県人の歴史」「福島潟の歴史～新田開発と新潟県人～」「新潟県 県民性の歴史と酒造り」「新潟県 文化財と県民性・地域の歴史」「新潟県 県民性と女性たち」「歴史が創った 新潟県の県民性」「新潟県 県民性の歴史ー豊・支配・出稼ぎ・移住」「新潟県 県民性の人物史」「新潟おもしろ課外授業新潟人気質の歴史」 			
イトウ ミツル	伊藤 充						
1951							
				小,中,高,青,成, 年齢	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎	
77	新潟市立新津第二中学校・校長	新潟市中学校教員 新潟県教育庁文化行政課主任調査員 新潟市文化スポーツ部歴史文化課副参事 現在新潟市立新津第二中学校校長	新潟県教育庁文化行政課主任調査員として、遺跡発掘調査及び普及啓発に携わる。新潟市歴史文化課勤務において、市内8区すべての文化財調査を行う。平成30年旧新津油田金津鉱場跡の国史跡指定など新潟市内に存する文化財の指定や登録に携わる。	<ul style="list-style-type: none"> ●H30 新潟市歴史博物館(みなとびあ)講座「新潟市の文化財について」 ●R1 新潟市新津図書館講座「秋葉区の歴史と石油について」 ●R2 新潟日報リレー講座「石油王中野賢一と新潟の石油について」 			
イトウ キョウジ	入江 清次						
1963							
	中学校・高等学校教員免許			全て	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎	

【歴史・地理】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域	
					市内	市外
232		新潟県内の高校教員。新潟市歴史文化課非常勤嘱託。新潟県政記念館職員。	市民対象に関屋村の戊辰戦争、明治期の白山公園、新潟県会議事堂、新潟の太平洋戦争などに関する雑誌をした。	●R1 雑誌「新潟湊に現れた異国船と関屋村」、新潟の太平洋戦争		
ウミヲトヒテ	植村 敏秀					
1936	高等学校教諭専修免許状(社会—地理歴史・公民)					
70	新発田市文化財調査審議委員、さくら森林組合組合長	新発田市農業委員2期(元) 新発田市議会議員2期(元) 新発田古文書解読研究会会長(現在) 新発田郷土研究会副会長(現在) 大倉喜八郎の会理事(現在)	大倉喜八郎人物研究(発表) 中国古典より引き継ぐ江戸儒学について(発表) 新発田藩山崎闇斎朱子学について(発表) 新発田丹羽伯弘私塾「積善堂」(発表) 明治天皇北陸ご巡幸新発田(経緯とエピソード)(発表) 新発田重家と上杉景勝(発表) 戊辰戦争と新発田藩の去就(発表) 戊辰戦争と新発田藩の去就(発表)	●H29 国の台湾政策と大倉喜八郎 ●H30 戊辰戦争 新発田藩の苦難 ●R1 越後が生んだ偉人大倉喜八郎「大倉喜八郎の功績」		
オオムラチヨウイ					大沼 長栄	
1949						
新発田市					全て	全市 三,新,加,燕, 五,阿,胎
74	作家	国学院大学文学部卒。『江戸の女俳諧師「奥の細道」を行く—諸九尼の生涯』で第47回日本エッセイストクラブ賞を受賞。歴史に埋もれた人物の伝記や江戸時代庶民の旅、『奥の細道』に関する著作が多い。	江戸時代の越後の女性や庶民の旅、『奥の細道』についての講演。	●R2 江戸時代の旅と装い、「奥の細道」旅の日々とその後		
カモリアツコ					金森 敦子	
1946						
江南区						
104	胎内市役所職員 主任	胎内市の歴史人物「板額御前」を顕彰する市民有志グループ「板額会」が2002年に設立した当初から事務局担当として活動している。歴史を伝える演劇や演武をステージで披露する際にはナレーター及び衣裳を担当。また、出前教室の講師として派遣され、板額御前が活躍した平安～鎌倉時代の歴史や伝統文化を伝えている。	和装着付け(前結び)教室、鎧などの衣裳着付け体験、小中学生への演武指導、樹脂素材の鎧作り教室、まちづくり系の講演(小学校総合学習、各地域コミュニティなど)、板額御前と中世の歴史出前講座	●R1 板額御前の歴史と伝説を巡るツアー(ガイド)、鎧づくり教室、郷土の歴史人物「板額御前」と、市民グループ「板額会」のまちづくり活動		
カクダ マユミ					神田 真由美	
1972	和装着付け師範免許(前結び)、図書館司書資格、教員免許(中学1種、高校1種 国語)					
胎内市						全市 三,新,加,燕, 五,阿,胎
45	新潟県立大学 国際地域学部長、教授	1986年より新潟大学講師・准教授、2011年より新潟県立大学教授、2013年より同大学国際交流センター長、2017年より国際地域学部長。専門は地理学、東アジア地誌。近年の研究対象は、東アジア(中国)の都市における生活空間。	・北京の古い街並みの移り変わりや庶民の暮らしなどのテーマで、毎年現地で行っているヒアリング調査の結果を中心に、最新事情を紹介します。			
クサキケイ					櫛谷 圭司	
1958						全市 三,新,加,燕, 五,阿,胎

【歴史・地理】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域		
					市内	市外	
42	敬和学園大学人文学部教授	立教大学文学部ドイツ文学科卒業後、学習院大学大学院へ進学し、博士課程修了(ドイツ文学専攻)。この間、1981年～1983年にドイツのボン大学とハンブルク大学に留学。 1991年に敬和学園大学着任、2000年より現職。	・「グリム童話」、ミヒャエル・エンデのファンタジー小説のほか、ドイツ文学一般について ・ナチス・ドイツ期の女性雑誌を通して第二次世界大戦を考える ・ドイツ語講座	●H29 ジェンダーで社会を考える講座「幸せの追求～親と子、そして戦争」 ●H30 グリム童話と人権～『グリム童話』に描かれた女性たち～ ●R1 シンデレラを読み解く～私たちが知っているシンデレラとはちょっと違うグリム童話～			
桑原 ヒサ子				ドイツ語教員免許状	成,女	全市	新,
1953				西区			
241	新津市青少年健全育成会会長(H15～20) 新潟市育成協議会副会長(H19～22) 新潟市社会教育委員(H18～23) 新潟市秋葉区自治協議会会長(H23～26) 「ちあき」の会 会長(H13～)	これまでの活動なかで発見した地域の宝物の調査「琵琶湖周航の歌」原曲(ひつじくさ)作曲者「吉田千秋」。100年以上も愛された歌の秘密と遺品を解説しながら、海外からの文化を一気に受け入れた明治、大正の若者の価値観を伝える。新潟市の作曲家。	●H29 市民講座・秋葉区の学び「吉田千秋とひつじくさ」 ●H30 おぎかわ生涯学習講座「名曲誕生の謎とロマン琵琶湖周航の歌と原曲ひつじくさ」 ●R2 吉田千秋NEXT100事業「大人のための千秋さんぽ」				
新藤 幸生			小,中,高,青, 齢	全市	阿		
1956			秋葉区				
183	越佐歴史資料調査会世話人	能生水産高校教諭、新潟大学人文学部助手、新発田高校教諭、新潟高校教諭、県立文書館嘱託職員、新潟大学非常勤講師	近世古文書解読、在郷町(葛塚)の歴史、水原代官罷免事件越後近世織物史…*越後縮の生産と流通 *青苧(縮原料)専売制をめぐる争い *商人の情報伝達(縮問屋の江戸出店書状)*縮問屋奉公人の暮らし(給金と店内格式) *縮問屋奉公人の暮らし(一日と一年) *ある奉公人の生き様(茂助と伝七)	成, 齢 全市 新,阿,			
杉本 耕一				成, 齢	全市	新,阿,	
1941				北区			
93	農業	S42年 東京私立大卒業 S42年～ 大成建設(株)入社 H17年 定年退職	1. 南区茨曾根地区に関する歴史的事項 2. 良寛に関する事項	●茨曾根の歴史			
関根 伸行				青,成, 齢,男, 女,他	南		
1944				南区			
151	農業	「地域の歴史を残し伝えていくこと。自分の住む故郷に誇りを持ってほしい。」との思いから2013年に地名の由来などが記された「庄瀬地域の地名を読み解く」、14年には、庄瀬地域の地蔵建立にまつわるいわれを記した「庄瀬お地蔵さま」を発行。	・南区庄瀬地域の歴史についての講座、講演 ・堀部安兵衛についての講座、講演(現地説明) ※いずれも小学校と連携	●R1 庄瀬地域の歴史について			
田村 義三郎				小,成	秋,南,蒲		
1941				南区			

【歴史・地理】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域	
					市内	市外
132	Love River Net 代表	2001年より信濃川大河津資料館に勤務。2006年より同館館長補佐。2011年長岡震災アーカイブセンターきおくみらいチーフコーディネーター。2012年株式会社エコロジーサイエンス主査研究員。2017年同社防災企画室室長。また、2014年に水辺の活動を展開する団体「Love River Net (ラブリバーネット)」を設立し、魚とりや観察会、ボート乗船体験、水辺コンサートなどを企画・実施。	新潟の水害の特徴や被害実態、水害から命を守る防災活動についてワークショップや講義を行っています。また、大河津分水や横田切れと地域の成り立ちなどについて、講演や関連箇所のガイドを行っています。	●R1 大河津分水バスツアーのガイド ●R2 防災学習(水害)の事前授業、大河津分水の歴史に関する講演	全て	全市 三.新.加.燕, 五.阿.胎
樋口 勲 1975	学芸員、プロジェクトWETエドゥケーター、技術士(建設部門)、防災士					
31		定年退職後、万代橋架設、八木朋直の足跡に興味を持ち調べる。同時に郷土史に関心を持つ。後に新潟シティガイド、新津観光ボランティアの活動に参加し現在に至る。	先人の残した書籍や地図等から郷土の歴史を掘り起こし、講演や町歩きをしています。	●H29 秋葉区の学び、まちなかぶら散歩。 ●R1 秋葉区の学び3連続講座(1)桂家がやって来た。(2)桂家が焼けた。(3)桂家を探し歩く、秋葉区の学び4連続講座(1)桂家と秋葉山(2)学校と桂家(3)桂家ゆかりの地を訪ねて。秋葉山編(4)桂家ゆかりの地を訪ねて。正法寺編。	全て	秋
本田 富義 1947						
37		新潟県美術博物館学芸員、県立文書館専門文書研究員、同副館長、県立図書館嘱託員	・地名、町名の現状を資料にして、その成立ちや性格、地域の歴史、暮しとの関わりを考えることから、地域史料としての認識を深めてもらいたい。 ・軸や屏風の基本的な取扱い方を心掛けることで、日常生活の中で親しみが倍増することを広めたい。 ・屋外の記念碑やモニュメントに込められた作者の思いを知り、郷土と先人の歩みを知る史料としての認識を広めたい。	●H29～R1 地名・町名が語る郷土100年の歩み ●H30 屏風、その保存と鑑賞のポイント ●H30～R1 知って楽しむ 身近な掛軸	成.齡.男.女	全市 三.新.加.燕, 五.阿.胎
本井 晴信 1951						
197	新潟郷土史研究会理事	博士(文学)新潟大学 学芸員 元新潟市旧齋藤家別邸副館長	・江戸時代からの湊町新潟における商人の歴史 ・廻船問屋を中心とした商業や海運について ・新潟県の鉄道史 ・新潟花火の歴史	●H30 にいがた市民大学「開港都市に選ばれた「新潟」第9回交通網の近代化と新潟一船から鉄道へ」 ●R2 新津油田と中野家、廻船問屋「当銀屋」の成長と北前船	高.青.成.齡. 男.女	全市 三.新.加.燕, 五.阿.胎
ヨキ ツヨシ 横木 剛 1976						